

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する

URL <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/research.html>

承認番号	2019-031
研究課題名	パイエル板組織内共生細菌の組織学的解析
研究の意義・目的	腸管の管腔内・粘膜上皮には100兆個もの細菌が共生しています。近年、腸管の免疫に重要なパイエル板と呼ばれる組織の内部にもある種の細菌が共生し、人体に有用な働きを持つ可能性が示されています。しかし、それらの組織内共生細菌の存在はマウスや健常成人においてのみ確認されており、小児における共生細菌の有無や種類については全く情報がありません。本研究では、外科的に切除された小児の小腸組織を用い、小児のパイエル板組織における共生細菌の有無を明らかにし、小児の腸管免疫システムの発達を解明する基盤作りに貢献します。
研究を行う期間	承認後 ～ 2022年03月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2009年04月01日～2019年09月20日に、大阪市立大学医学部附属病院にて小腸の部分切除を受けられた患者様が対象です。
お願いする内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■共同研究機関から試料・情報の提供を受けて研究します。</li> <li>■大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。</li> </ul>
	大阪市立大学医学部附属病院に保管されている小腸組織のパラフィン包埋標本、ならびに電子カルテ上の診療記録（性別・年齢・基礎疾患・治療内容等）を本研究用に使用させていただきます。
頂いた試料・情報の提供方法	共同研究機関に試料・情報を提供する場合、特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 准教授 徳原大介
この研究を行っている施設（共同研究機関）	<p>（代表施設）大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学                  研究代表者名：大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 准教授 徳原大介                  （共同研究機関）東京大学医科学研究所                  共同研究機関における研究責任者名：東京大学医科学研究所国際粘膜ワクチン開発研究センター 臨床ワクチン学分野 特任教授 藤橋 浩太郎</p>
代表施設のURL	大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学HP <a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/research.html">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/research.html</a>
研究の成果を公表する方法	国内外の小児や免疫関連の学術集会にて発表するとともに、学術誌に論文として公表し、本学小児科講座のホームページにも成果の概要を公表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	受付方法：電話あるいはメール 電話：06-6645-3816（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 医局） メール：m1155519@med.osaka-cu.ac.jp 担当者名：徳原 大介